

# ラジオリンク・プラス取扱説明書



## 目次

	概要及び使用上のご注意	P.2
	電池の取付方法	P.2
ラジオリンクプラス (ロードセル)	ワイヤレスシグナルについて ロードセルの使用方法	P.3 P.3
手持ちディスプレイ	ボタン・アイコン説明と機能一覧 基本操作方法 ロードセルとのペアリング方法 詳細設定方法 警告アイコン・メッセージ一覧	P.4 P.5 P.6 P.7 P.8
	製品のアフターケア 校正サービスと不具合のお問い合わせ 製品保証	P.9 P.9 P.9

## 概要及び使用上のご注意

クロスビー・ストレートポイント社で製造・販売される全ての製品は、購入者及びユーザー様は安全で適切な使用方法、アフターケアについて十分に理解したうえでご利用いただくものとし、その責任はユーザー様が負うものとします。過荷重等の誤った使用方法、不適切なアフターケア・メンテナンスにより製品に不具合が発生する場合があります。クロスビー・ストレートポイント社の製品は最新版 ASME B30.26-2010“着脱可能な荷重表示計(ロードセル)”をはじめとする数多くの国家規格及び工業規格に適合しています。

取扱説明書、カタログ等に記載される定格値は新品又は“新品同様”と認められる製品にのみ適用される数値です。定格荷重は通常の使用環境下で製品が耐えられる最大荷重及び負荷を指します。衝撃荷重や特殊な条件下での使用が懸念される場合には、製品の選定の際に考慮に入れるようにしてください。

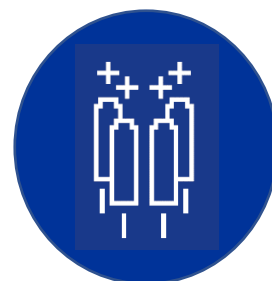
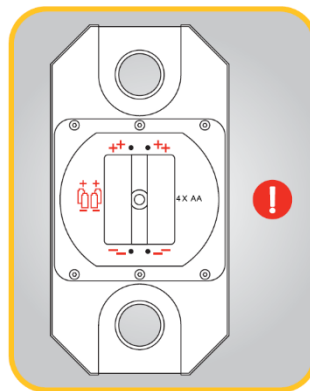
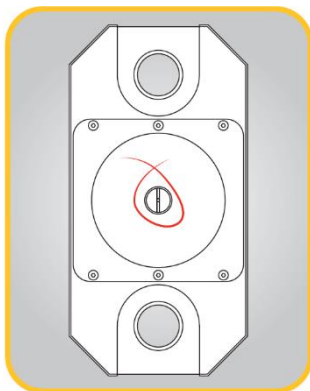
ロードセル製品の中には、吊り具等の金具と組み合わせて使用する製品もあります。他メーカーの金具を使用する場合、該当メーカーから提供される取扱説明書等を読み、各種国家規格や工業規格と併せてよく理解したうえでご使用ください。製品の能力は使用に伴う摩耗、誤使用、過荷重、腐食、変形、意図的な改造、経年劣化等の使用状況に影響される場合があります。

当社のロードセルは、別途記載がない限り、全て使用荷重の2倍でブルーロード(保証荷重)試験を実施しています。

## 電池の取付方法

### 【ラジオリンクプラス】

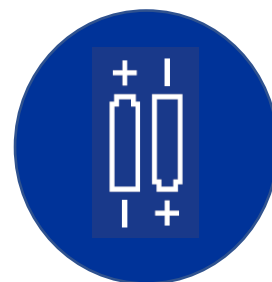
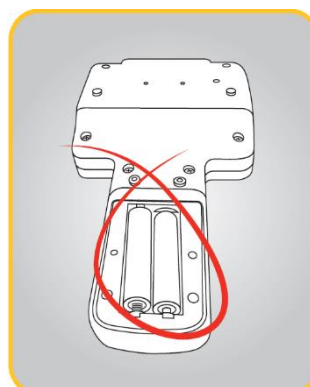
…マイナドライバーで裏面カバーを取り外し、単三電池4本を取り付け、カバーを再び取り付けます。



単三電池 x 4 本

### 【手持ちディスプレイ】

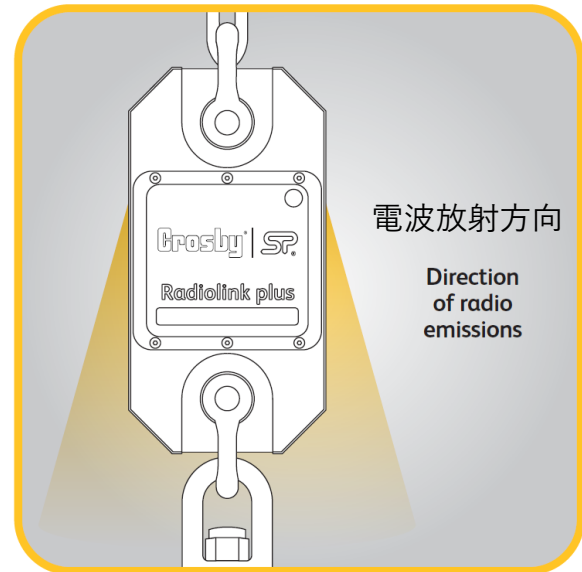
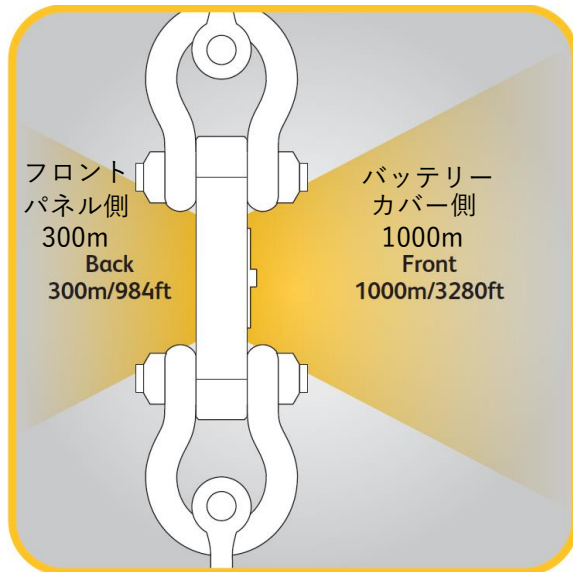
…プラスドライバーで裏面カバーを取り外し、単三電池2本を取り付け、カバーを再び取り付けます。



単三電池 x 2 本

ワイヤレスシグナルについて – ラジオリンクプラス –

ラジオリンクプラスの電波範囲は下図の通りです。



使用方法 – ラジオリンクプラス –

品番	RLP1T	RLP2T5	RLP6T5	RLP12T	RLP25T	RLP35T	RLP55T
シャックル	19mm	19mm	25mm	35mm	51mm	57mm	57mm
ピン径Φ	3/4"	3/4"	1"	1 3/8"	2"	2 1/4"	2 1/4"
品番	RLP75T	RLP100T	RLP150T	RLP200T	RLP250T	RLP300T	RLP500T
シャックル	70mm	83mm	95mm	121mm	127mm	152mm	180mm
ピン径Φ	2 3/4"	3 1/4"	3 3/4"	4 3/4"	5"	6"	7 1/8"





- \* ロードセルに電池を取り付けた後、シャックルの装着は上記表を参考にしながらロードセルの定格荷重に応じた適切なサイズを選定し行ってください。
- \* 使用荷重(WLL)は全てのロードセルの側面に記載されています。(例：Max: 6.5 tonne x 0.001te.)ご使用前には、作業条件が製品仕様の範囲内であることを確認のうえご使用ください。
- \* 本製品のご使用时には、作業者は吊り荷から安全な距離を取り、且つ、ラジオリンクの電波放射方向及び電波到達距離範囲内で作業してください。
- \* 衝撃荷重は避けてください。また、大きなねじれ応力が製品に加わるような使用も、製品に修理不可能な損傷が発生する可能性がありますので避けてください。
- \* 使用後は製品を取り外し、汚れを落として保管してください(当社製キャリーケースが理想的です)。長期間使用することがない場合には、ロードセルと手持ちディスプレイから電池を取り外して保管してください。



【ボタンの種類】…( )は詳細設定時の機能

- ①電源(⇄)ボタン
- ②ピークホールド(↑)ボタン
- ③荷重単位(↓)ボタン
- ④風袋(⇒)ボタン

【基本アイコンの種類】

-  重単位(左図は t)
-  ピークホールド設定中
-  風袋引き設定中
-  電波強さ(1~5本)

【機能一覧】

●基本操作

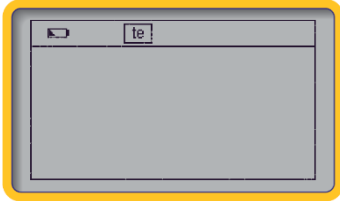
・電源 ON・OFF 設定	…電源の ON・OFF を設定します	P.5
・ピークホールド設定	…計測中での最大荷重のみが表示されます	P.5
・荷重単位変換設定	…荷重単位を t / kN / kg / lb に変換します	P.5
・風袋引き設定	…風袋の重さを差し引いて吊り荷の正味量を表示します	P.5
・バックライト設定	…ディスプレイのバックライト ON・OFF を設定します	P.5,P.7
・個別・合計重量表示設定	…個別/合計荷重の表示切替を行います(ロードセル複数使用時)	P.5
・ロードセルとのペアリング設定	…ロードセルを最大 4 台までペアリング設定できます	P.6

●詳細設定

・ロードセル情報	…ロードセル本体の情報が確認できます。	P.7
・自動 OFF 設定	…手持ちディスプレイの電源を自動 OFF に設定します	P.7
・オーバーロード(過荷重)設定	…オーバーロードとする荷重値を任意で設定します	P.7
・アラーム設定	…アラーム音を鳴らす荷重値を任意で設定します	P.7
・システムゼロ設定	…表示値を強制的にゼロにする設定です	P.7

機能	操作	表示
電源 ON・OFF 設定	 ①電源長押し(5秒)	→ 
ピークホールド設定 解除	 ②ピークホールド   ②ピークホールド	→ 
荷重単位交換	 ③荷重単位 (t→kN→kg→lb の順に変換)  ※出荷前の工場設定で交換機能の無効化も可能。 その場合、この操作を行うとピープ音が鳴ります。	→ 
風袋引き 設定 解除	 ④風袋   ④風袋	→  → 
システムゼロ 設定	 風袋引きをオンにした状態で ④風袋(長押し)  ※システムゼロの解除は P.7 を参照	→
バックライト 設定 解除	 +  ①電源 同時押し ④風袋  P.7 を参照してください。	
個別・合計値表示	 +  ②ピークホールド ③荷重単位 同時押し	→ 

ラジオリンクプラスとのペアリング方法 – 手持ちディスプレイ –



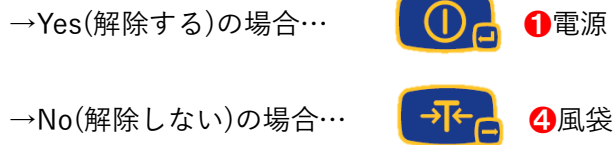
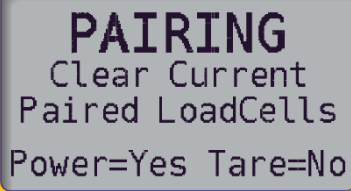
新品のロードセルを単体でご使用される場合、同梱の手持ちディスプレイはペアリングされた状態で工場出荷されますので下記手順は必要ありません。  
(ペアリングされていない場合、左図の様に画面は空白で表示されます)

手順 1.



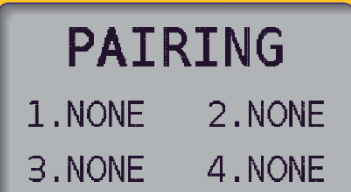
▼前回(又は初期)設定したペアリング解除画面が表示されます

手順 2.



▼ペアリング画面が表示されます(下図は何もペアリングされていない状態)

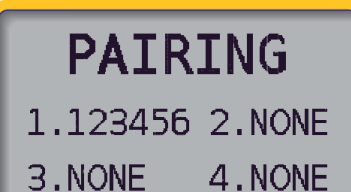
手順 3.



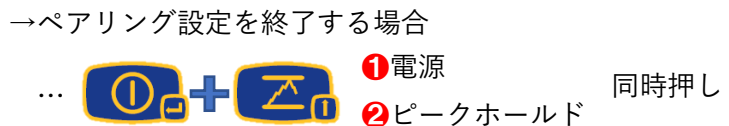
→ペアリングするロードセル本体の電池を取り外した状態から、片側 2 本を入れます  
ディスプレイ画面に該当のロードセルが表示されるまで 5 秒ほど待ちます

▼ペアリング画面にペアリングされたロードセルが表示されます

手順 4.

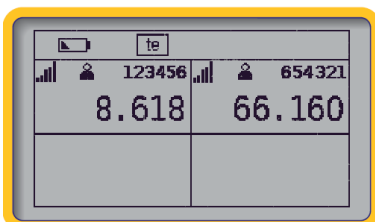


→複数のロードセルをペアリングする場合  
…手順 3. を繰り返してください




▼荷重表示画面に戻ります

完了



※ペアリングされているのが確認出来たら、ロードセル本体の電池が 4 本全て 入っていることを確認してください


手順 1.



③ 荷重単位  
④ 風袋 同時押し

手順 2.

メニュー画面が表示されます。キー操作で設定項目を選択します。



② ↑ 上へ移動  
③ ↓ 下へ移動  
① ⇐ 決定

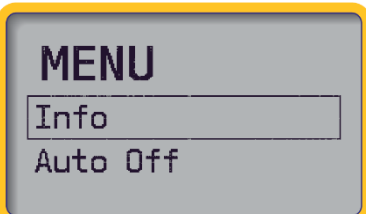
手順 3.


▼▼ 各詳細編集画面が表示されます ▼▼

メニュー	画面	機能	操作
ロードセル情報 (Info)		接続されているロードセルのシリアル番号およびファームウェア情報を確認できます。	なし
自動電源オフ (Auto off)		ハンドヘルドの自動電源オフ時間(分)を設定します。0 にすると自動オフが適用されません。	数値を増やす
オーバーロード (Overload%)		オーバーロード表示の閾値を使用荷重の 0~110% で設定します。表示値が閾値に達すると数値の代わりに“OVERLOAD”と表示されます。0(の場合の閾値は使用荷重となります(=100%)。	② ↑ 数値を減らす
アラーム (Alarm%)		アラームの閾値を使用荷重の 0~110% で設定します。表示値が閾値に達するとアラームが鳴ります。0 の場合は使用荷重でアラームが鳴ります (=100%)。	③ ↓ 数値を決定
バックライトオフ (BkLghtOff)		ハンドヘルドのバックライトの自動オフ(分)を設定します。0 の場合はバックライトがオフになります。	① ⇐
システムゼロ		システムゼロの解除ができます。システムゼロクリアを Yes にすると表示値は計測値に戻ります。	① ⇐ 選択を決定

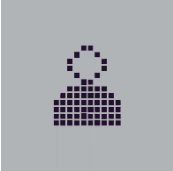

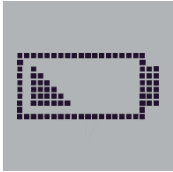
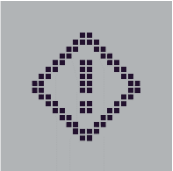


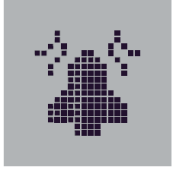
手順 4.

▼詳細設定メニュー画面に戻ります



→ 詳細設定を続ける場合  
…手順 2 ~ 3 を繰り返す  
→ 詳細設定を終了する場合  
…Exit を選択して  ① ⇐ 決定

【警告アイコン】

	<p>* オーバーロード(過荷重)発生</p> <p>使用荷重(WLL)の 110%を超える荷重がロードセルに掛かったことを表します。このアイコンが表示されると、ユーザー様で解除することが出来ません。</p> <p><b>*  ロードセル及び手持ちディスプレイをサービス代行店までお送りください。製品の再校正が必要になります。</b></p>
	<p>* 電池残量の低下</p> <p>ロードセル又は手持ちディスプレイの電池残量が僅かであることを表します。新しい電池に交換してください。</p>
 	<p>* 再校正期日の通知</p> <p>ロードセルの再校正期限が近づいていることを表します。使用前に校正有効期限を確認しサービス代行店に再校正を依頼してください。</p> <p><b>*  再校正期限の 1 カ月前から、手持ちディスプレイの電源を入れると画面に左図の警告メッセージが表示されます。直ちに製品の再校正をサービス代行店に依頼してください。</b></p>
	<p>* アラーム設定した荷重値の到達</p> <p>アラームが鳴るように任意で設定した荷重値に到達したことを表します。このアイコンが表示されても、ロードセルはロックされません。</p>

【警告メッセージ】

<p>LC error</p>	<p>* ロードセルエラー</p> <p>機能上の不具合が発生しています。再発する場合はサービス代行店までお送りください。</p>
<p>No RF</p>	<p>* 電波なし/不安定</p> <p>ロードセルが電波の範囲外にあるか別の無線通信機器の干渉を受けています。位置を移動してください</p>
<p>0.0 / No RF</p>	<p>* 読み取り不能</p> <p>上記と同様です。</p>
<p>Overload</p>	<p>* オーバーロード(過荷重) ロードセルに過荷重が掛かっています。</p>



## 製品のアフターケア

本製品は防塵・防水基準 IP67(NEMA6)に適合しております。溶剤の製品への影響は保証しかねますので、ご使用はお控えください。低温な場所から高温の場所への移動といった、製品に対する大きな温度変化が伴う場合、ご使用は 20~30 分ほど間隔を空けてから実施してください。温度変化は計測精度に影響を与える可能性があります。本製品の使用温度範囲は-10~50°Cです。

手持ちディスプレイに“OVERLOAD”(オーバーロード)と表示された場合、速やかに計測を中断し本製品に掛かる荷重を取り除いて下さい。また計測値がロードセルの使用荷重(WLL)以下であることを確認してください。“OVERLOAD”の表示が画面から消えない場合は、販売店までお問い合わせください。

## 校正サービスと不具合のお問い合わせ

本製品には校正証明書が発行され、有効期限は 1 年間です。

有効期限を過ぎた製品はクロスビー・ストレートポイント社又は認定校正サービス業者による再校正を推奨します。万が一製品に不具合が発生した場合、電池を新しいものに交換し不具合が解消されるかどうか試験してください。不具合が解消されない場合は販売店にお問い合わせください。お問い合わせの際には、不具合の詳細及び製品の使用状況をお教えください。

## 製品保証

メーカーは、下記条件を満たす場合において、本製品の故障に対し 1 年間の製品保証を行います。

### 保証条件

- 1) 製品が取扱説明書に記載されている内容通りに使用されていること。
- 2) 各製品の校正作業には万全を期しますが、本製品の計測誤差に対してメーカーは責任を負うものではありません。
- 3) 製品が故障した場合、取扱説明書裏面に記載してあります最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 4) 製品の故障が誤使用によるものと判断された場合、製品保証は無効とし、その修理費は有償となります。

**■ お問い合わせ先****マーテック株式会社**

本社 〒650-0046  
東京支店 〒104-0052  
名古屋支店 〒455-0801  
神戸支店 〒650-0046  
福岡支店 〒816-0912  
札幌営業所 〒003-0871  
仙台営業所 〒984-0012  
北関東営業所 〒370-0854

神戸市中央区港島中町 5-1-1  
東京都中央区月島 1-27-9 第4いちかわビル  
名古屋市港区小碓 2-126  
神戸市中央区港島中町 5-1-1  
福岡県大野城市御笠川 2-16-18  
札幌市白石区米里 1条 2-14-12  
仙台市若林区六丁の目中町 30-24  
群馬県高崎市下之城町 532-4

[info@martec.co.jp](mailto:info@martec.co.jp)[www.martec.co.jp](http://www.martec.co.jp)

TEL. 078-302-0460 / FAX 078-302-1404  
TEL. 03-5546-1232 / FAX 03-5546-1238  
TEL. 052-389-5300 / FAX 052-389-5301  
TEL. 078-302-2370 / FAX 078-302-0446  
TEL. 092-513-3061 / FAX 092-513-3062  
TEL. 011-872-7161 / FAX 011-872-7170  
TEL. 022-287-3140 / FAX 022-287-3144  
TEL. 027-367-4611 / FAX 027-367-4615